



駅前広場やバス停の猛暑対策を推進 森林環境税を活用 プラスチックごみ削減 取り組みを公表

—加治木府議の2月定例会の質疑・質問より



▲環境農林水産常任委員会で質問する加治木府議

加治木一彦府議は3月15日の府議会環境農林水産常任委員会で森林環境税の使い道やごみ削減に向けた取り組みなどについて質疑・質問をしました。概要は以下の通りです。

府は都市緑化を活用した猛暑対策と森林の土石流・流木対策を進めるため、森林環境税として2020年度から4年間、個人府民税均等割額に年間300円を上乗せしています。

駅前広場やバス停の緑化やドライミスト設置といった猛暑対策について、20年度は21件を採択済みで、21年度は50件の採択を目指すとのこと。

「大阪府循環型社会推進計画」は21年度から25年度までを対象とする新計画を立てます。特にプラスチックごみの削減に力を入れ、排出量は19年度比14%減の21万トン、リサイクル率は50%と23ポイントアップを目指します。



▲森林の土石流対策(イメージ)



▲プラスチックごみのリサイクルが課題に(イメージ)

府民には一段のマイバッグ、マイボトルの利用を呼び掛けるほか、プラスチックの分別収集をしていない市町村に実施を働きかけます。

この日の様子は府議会ホームページの動画配信でご覧いただけます。

活動日誌より

大阪府議会ホームページ

▶ http://www.pref.osaka.lg.jp/gikai_giji/toppage/index.html



2月 門真市

5

門真なみはや高校(門真市)の教員がインターネット経由で府教育センター附属高校(大阪市住吉区)に通う生徒に1対1で日本語を教えていました。受け入れ実績のある学校のノウハウをどう活用するか、現場の取り組みを後押しする必要があります。



▲オンラインで日本語指導(門真なみはや高校)

3月 大阪市東淀川区

1

府立東淀川支援学校(大阪市東淀川区)は市立中学校を転用し2015年4月、市立で開校、翌16年4月、府に移管されました。最も古い箇所は築60年を過ぎ老朽化が目立ちます。学習環境の改善を図っていきます。



▲東淀川支援学校を視察する加治木府議(右端)

3月 広島県尾道市、広島市

25,26

「ONOMICHI U2」は港の上屋を転用し、自転車を部屋に置けるホテル、瀬戸内の海産物が人気のレストランなどが入居しています。「しまなみ海道」を自転車で走る人たちや地元の人たちでにぎわう拠点になっています。

広島港のうち「宇品波止場公園」は旧陸軍の岸壁が残る歴史ある場所です。倉庫街を再開発し、家具店、雑貨店などが進出しています。「広島みなと公園」はヘリポートがあり、大規模災害時の物流拠点や仮設住宅の予定地にもなっています。



▲広島港



▲ONOMICHI U2

お知らせ▶



「大阪府議会議員 かじき一彦」

Facebookページにて、議員活動の情報発信をしております。当該ページに「いいね!」を押していただき、ぜひご覧ください。



「かじき一彦」のLINE@アカウント
右記QRコードから「追加」で、議員活動の情報発信をしております。

